

情報連絡員報告・9月分

製造業のデフレ傾向に歯止めか

～下がり続けていた「販売価格」DI値がゼロを記録～

<東京都中央会>

9月の情報連絡員報告によると、製造業の「販売価格」前年同月比DI値がゼロを記録していることが明らかになった。販売価格の低下傾向に歯止めがかかったということだが、非製造業では-9.4とマイナスを続けているので厳しい状況に変わりはないさそうだ。今年は本土に上陸する台風が多い。青果物小売業界から台風の影響で作物が不足し高値になっているとの報告が寄せられている。製造業65人、非製造業85人、計150人の集計。

<特記事項欄より>

多摩地区青果物小売=台風の被害が西日本で大きく、例年関東地区に搬入されている作物が不足し高値になった。

製粉業=夏場はパン関係が減少、麺類は若干増加、しかし、即席麺が大幅に減少。

ソース製造=夏場の猛暑が需要面に影響し、ウスターソース類は低調、専用ソースタイプの焼きそばソース、めん汁等で売上げを確保している。

清涼飲料製造=猛暑による一時的な好転も元に戻り、厳しい状況。新製品開発も大きな課題だが、資金調達難も問題。

弁当製造=日配弁当をやめ、無添加のお

総菜屋に転換した会社があるが、老人に人気だという。

タイヤ販売=タイヤメーカー直営店、系列店の廃業、倒産も多くなってきた。今までは何らかの形で応援・支援していたのが、限界にきたのかもしれない。

建築金物製造=依然としてステンレス等の値上げの要請があり、原材料高、販売価格安の状態が続いている。また、原油高の影響も懸念される。

金属熱処理=需要好調の中にあってもユーザーの業種によって若干差が出てきている。半導体関係は一段落、工作機械・産業機械は高水準、自動車関係は横這い、ただし海外への移転は進んで

いる。

スポーツ用品製造＝アテネオリンピックの余韻が続く中、業界として今後に期待しています。「スポーツを見る」から「やる」へ移行してもらうこと、スポーツの魅力をいかに伝えるか、これが我々の課題。

玩具卸＝当組合発行の「トイジャーナル」でメーカー、問屋、小売にアンケートを行った結果、売上・収益ともにメーカーだけは概ね伸びている。この現象の分析を急いでいるところである。

<要望事項欄より>

* 電子入札制度について、行政（都・区・自治体）の取組進捗がよく見えない。印刷関係の状況が知りたい。

[印刷業]

* 事業廃止事業所への支援を要望する。

事業廃止に伴い土壌汚染対策法、東京都環境確保条例による土壌汚染調査が必要で長期に土地利用が制限され困っている。

[メッキ業]

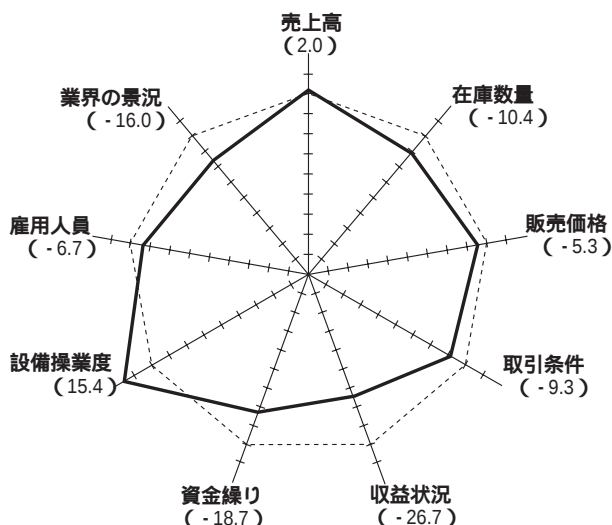
* 赤坂一ツ木通り（550m）のなかに、TBSをはじめ、大規模開発が3カ所ある。道路はダンプ街道と化していて、工事が終わるまでの4年間座して待つことはできない。大規模開発を制限していただきたい。

[赤坂一ツ木通り商店街]

* 自動車リサイクル法の施行を来年1月に控え、制度の周知、ユーザーへの広報活動を積極的に行ってほしい。

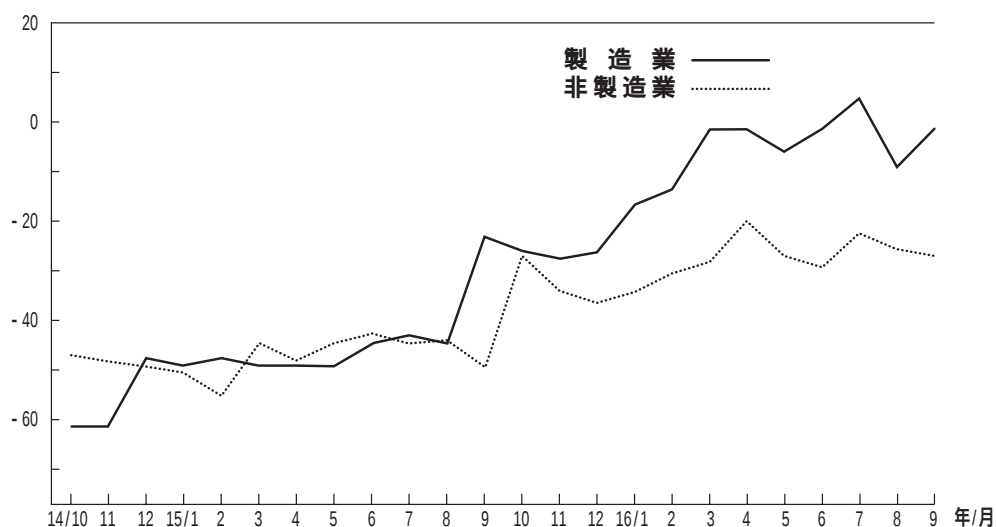
[自動車整備業]

9月のレーダーチャート（全産業、前年同月比DI値）

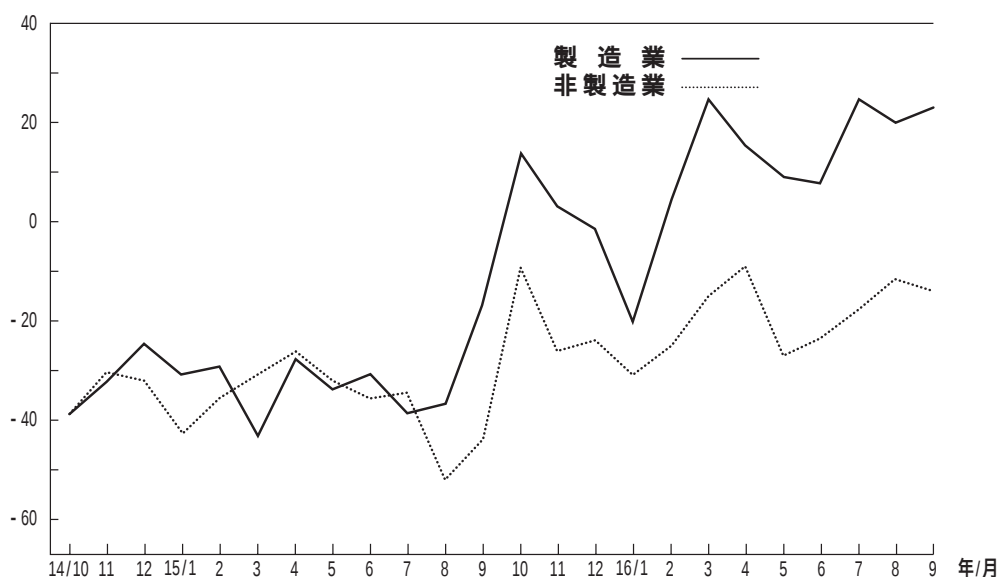


(注)点線の9角形が「DI = 0」を示す。したがって、点線の内側は「減少」「低下」「悪化」、外側は「増加」「上昇」「好転」となる。

業界の景況DIの変化（H14.10～H16.9）
（前年同月比）



売上高DIの変化（H14.10～H16.9）
（前年同月比）



(注)DIとは、ディフュージョン・インデックスの略で、前年同月に比べ「増加」・「上昇」・「好転」したとする割合から「減少」・「低下」・「悪化」したとする割合を差引いた値である。